

# サンティアゴ巡礼路による

## 都市・観光振興

パシフィックコンサルタンツ(株)

東洋建設(株)

JAPIC

石崎 晶子

佐野 潤

林田 康洋

# 1. 視察の背景・目的

- ◆サンティアゴ巡礼路は、1993年の世界遺産登録以来、巡礼者が増え続け、現在では20倍以上になっている。
- ◆その背景には、世界各地から訪れる巡礼者のニーズに合わせた、ハード・ソフト両面での、サポート体制が手厚く整備されている。
- ◆他方、日本の「四国お遍路」は、四国の活性化の大きな要素と考えられるものの、巡礼者数は減少傾向。受け入れる側の人口減少が進む四国各地では、宿の減少に加え、言葉の壁によるインバウンド客への対応のむづかしさ
- ◆今後、人口減少・高齢化が進む四国にて、各地がお遍路を観光コンテンツに地域活性化を進めるためのヒントとして、サンティアゴ巡礼の取り組みを視察

# 2. 四国お遍路の現状

## ◆ 遍路人数の大幅な減少

- 2014～2018年の年平均 ⇒ 約7.8万人
- 1998～2002年の年平均 ⇒ 約13.5万人



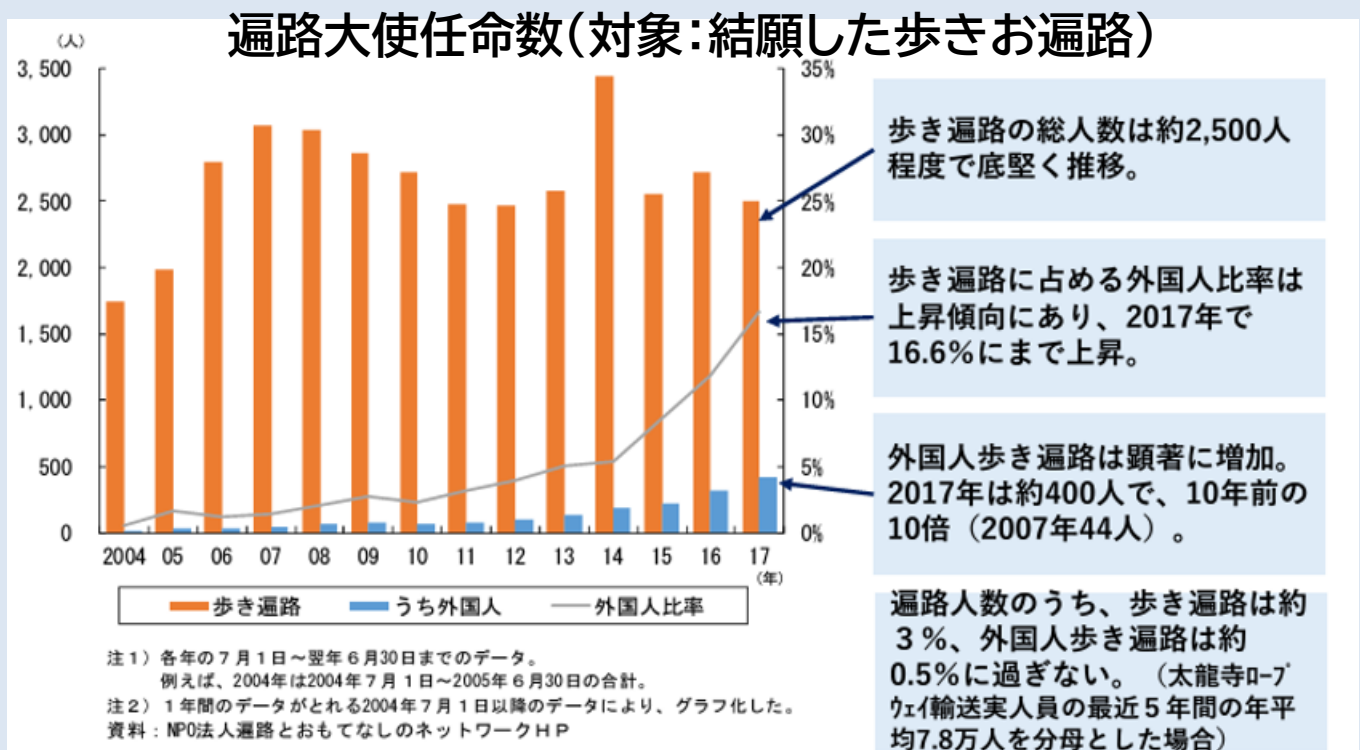
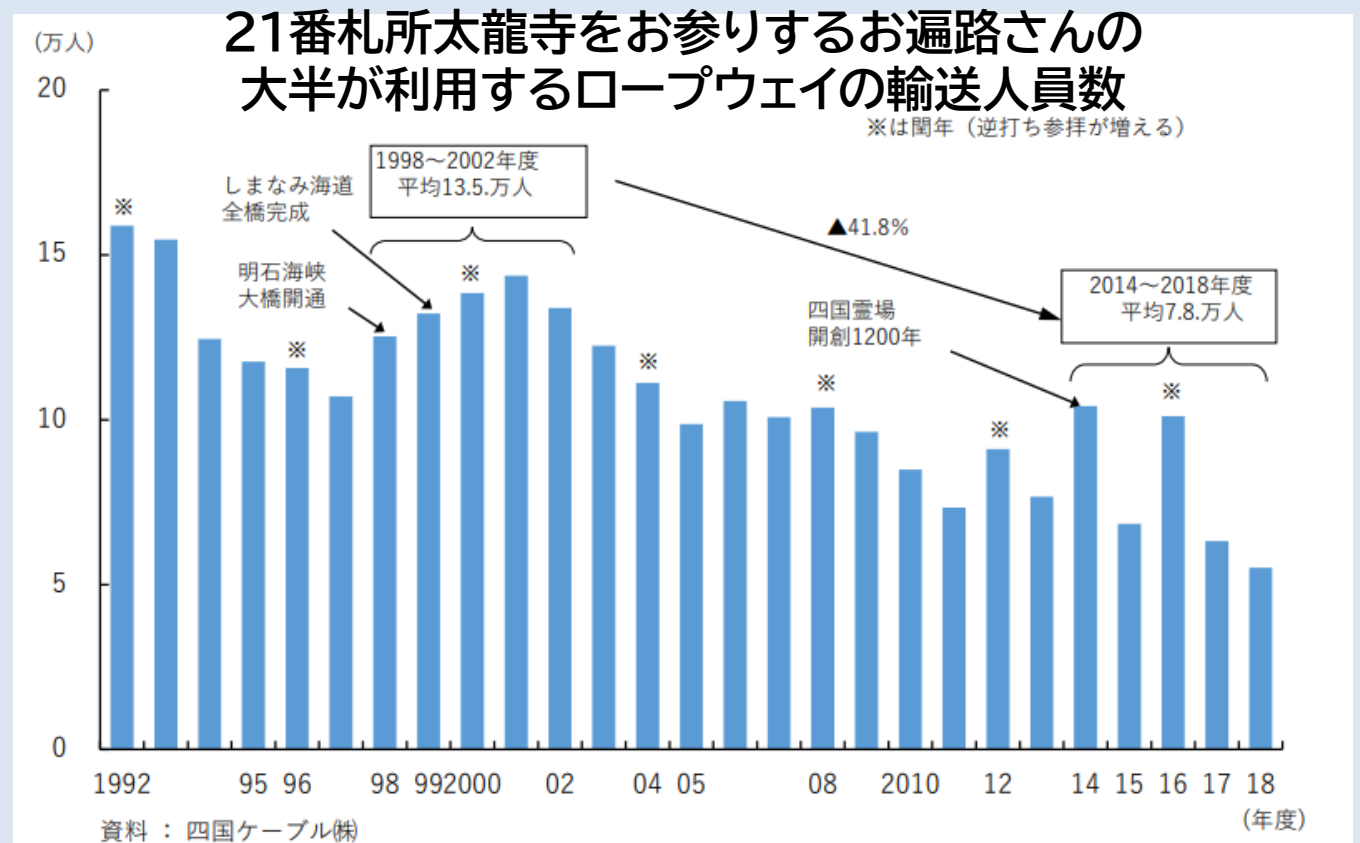
4割程度減少している可能性

## ◆ 結願した歩き遍路と 外国人遍路の動向

- 歩き遍路: 約2,500人
- 外国人比率: 16.6% (2017年)
- 外国人歩き遍路は増加傾向 44人 (2007年)

約10倍

400人 (2017年)



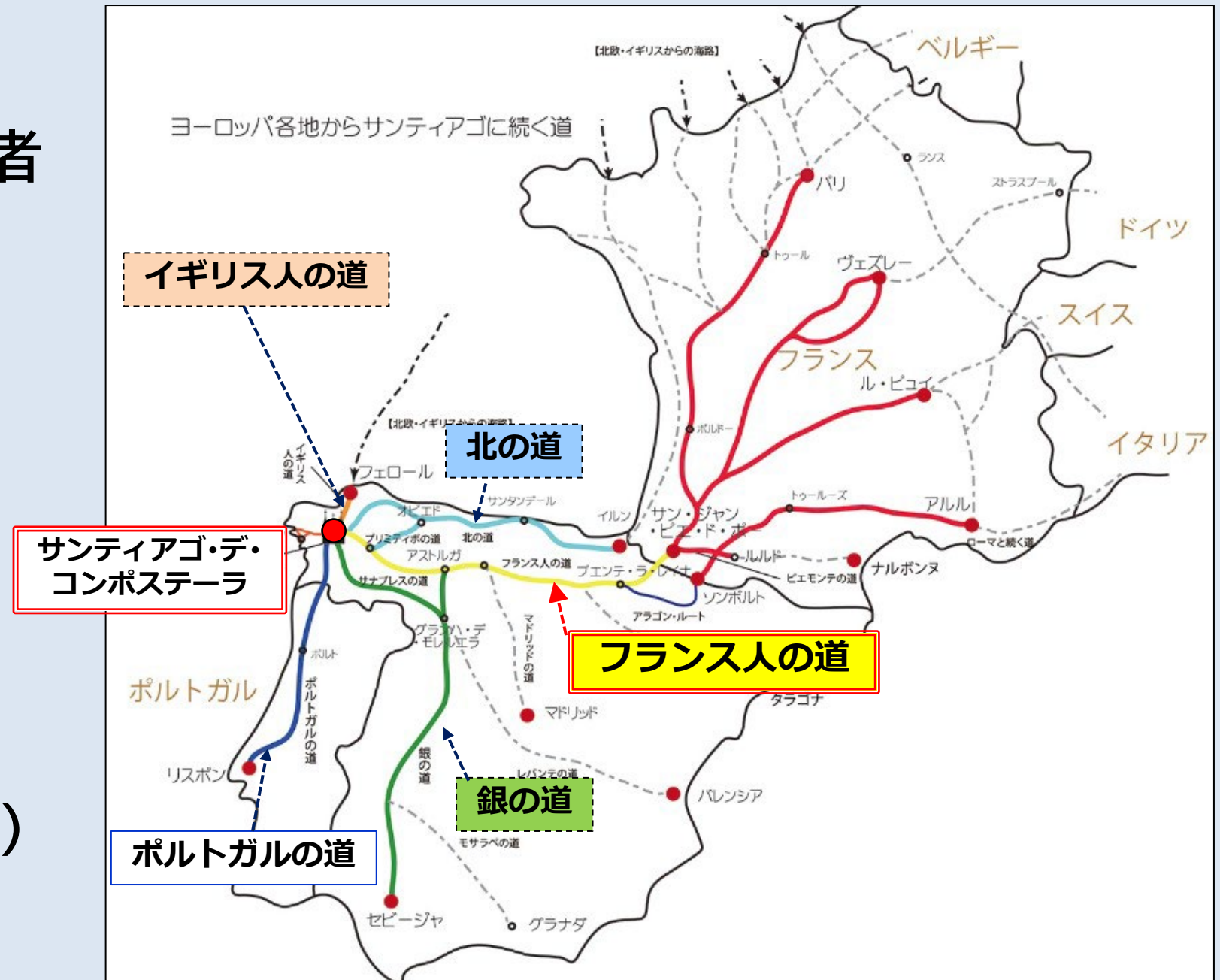
# 3. 概要

◆スペイン西部 サンティアゴ・デ・コンポステーラ(Santiago de Compostela)を目指す巡礼路(キリスト12使徒の一人の聖ヤコブが発見された地)

◆813年:聖ヤコブの墓発見  
→世界各国より多くの巡礼者が訪問

◆世界遺産化  
・終着地:1985年登録  
・巡礼路:1993年登録  
→観光客も増加

【今回視察】  
・フランス人の道  
フランス国境から(ピレネー)から終着地まで約780km  
現在最も人気のある巡礼路



(出典) 日本サンティアゴ・デ・コンポステーラ友の会HPからの図をJAPICにて一部改変

# 4. サンティアゴ巡礼の現状

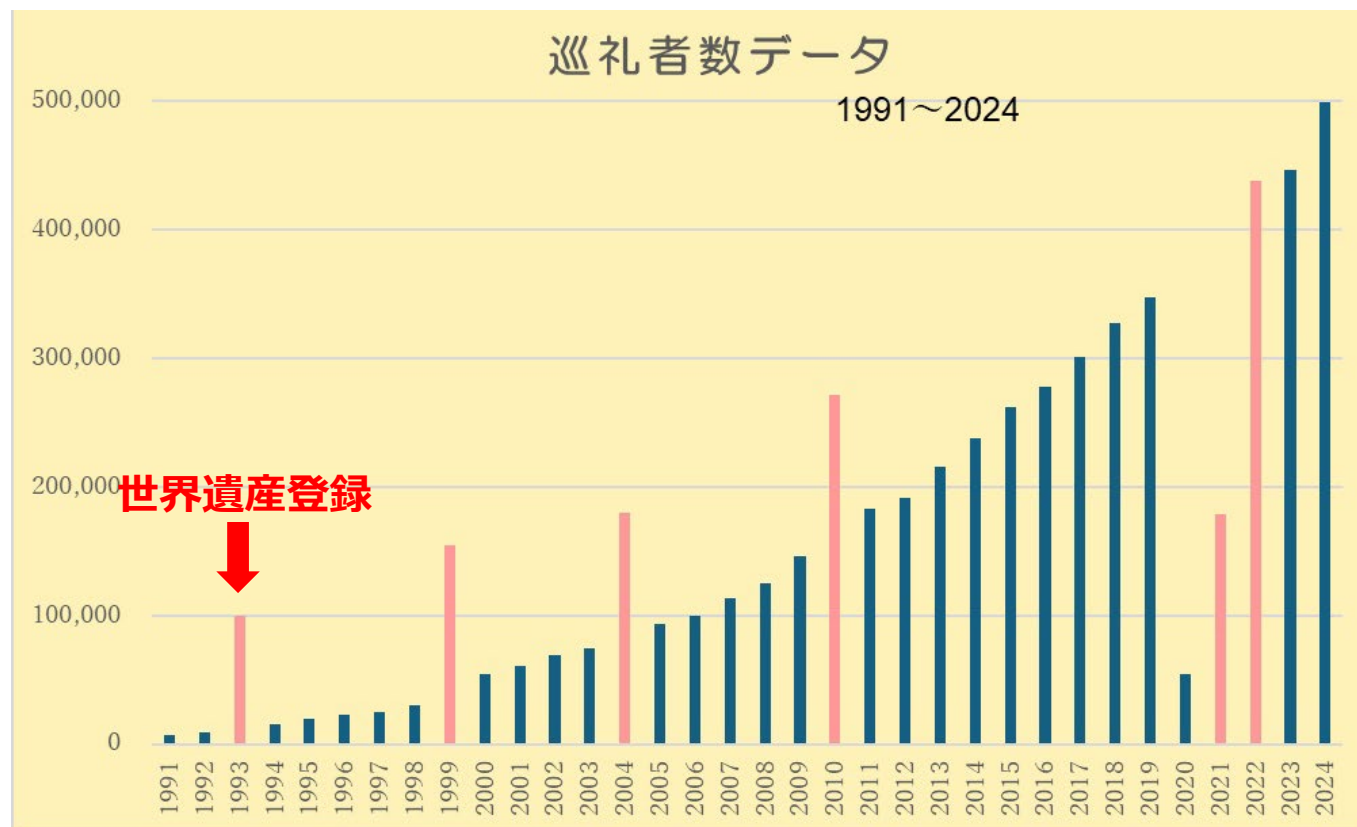
## ◆巡礼とは

- ・巡礼者：徒歩、自転車（動力付きは除く）、馬、帆船で巡礼
- ・巡礼完了→巡礼証明書「コンポステーラ」を授与（条件も様々）

## ◆現状

- ・巡礼者は18歳～45歳と46～65歳も割合がほぼ同じ、全体の80%  
男女比も同程度、多様な国籍

### 巡礼者数推移グラフ



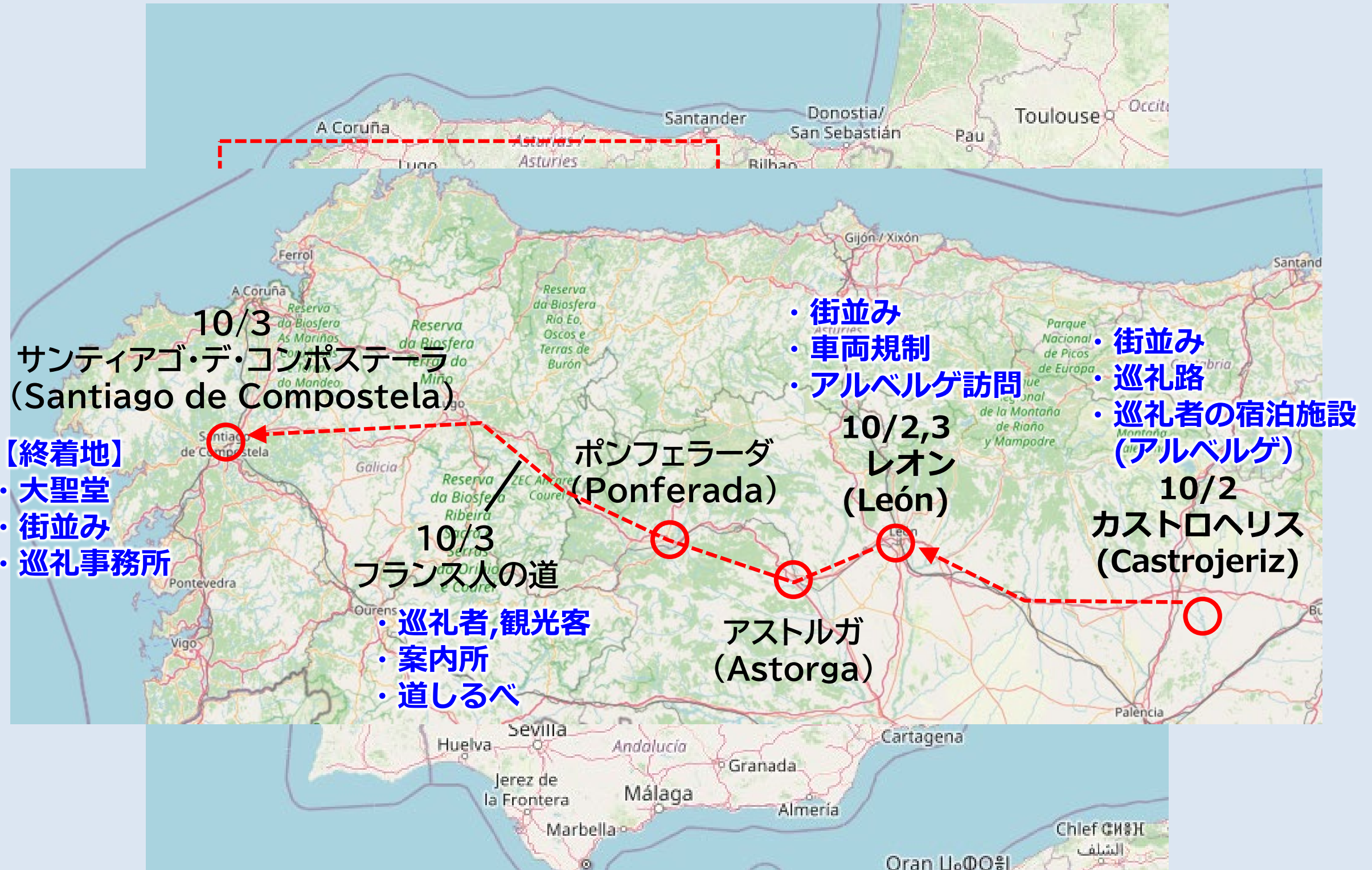
## ・聖年

(1993,1999,2004,2010,2021,2022)  
サンティアゴ(聖ヤコブのスペイン語)のである7/25が日曜日になる年

**世界遺産登録以来  
20倍以上**

(出典) 日本サンティアゴ・デ・コンポステーラ友の会HP

# 5. 今回の視察ルート



(出典) ©OpenStreetMapを加工

## 6. カストロヘリスの街

- ・人口約700人の小さな街
- ・巡礼路は、高原の美しい畑の中を進む
- ・多数のアルベルゲ(巡礼者の宿)、案内所が整備

街中の巡礼路



高原へ続く巡礼路



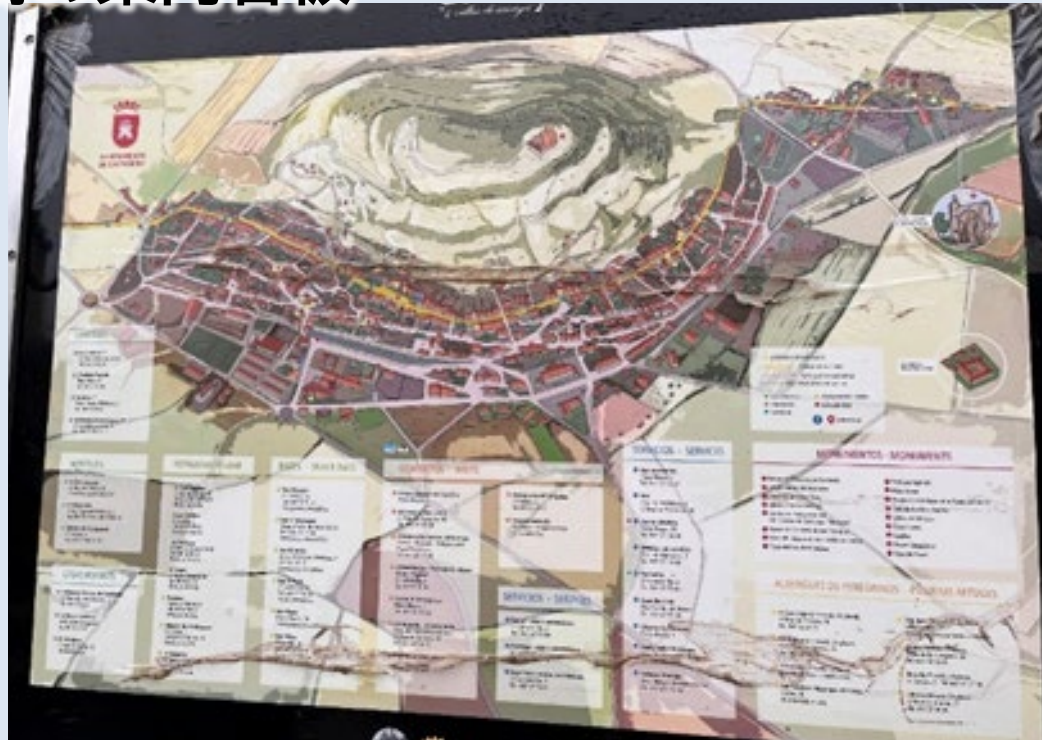
カストロヘリス城

(佐野撮影)

(林田撮影)

## 6-2. カストロヘリスの街

### 街の案内看板



(石崎撮影)

- ・ホテル:4か所、ホステル(相部屋)3か所
- ・貸別荘:3か所、アルベルゲ:8か所
- ・全部で収容数約200人
- ・案内看板に、巡礼に必要な情報が充実  
(各宿電話番号、宿泊可能人数まで記載)

### アルベルゲ



(石崎撮影)

### アルベルゲへ向かう巡礼者



(石崎撮影)



## 7. レオンの街

- 中世レオン王国の首都
- スペイン17自治州で最大のカスティーリャ・イ・レオン州主要都市
- レオン県の県都  
レオン州: 9県(アビラ、ブルゴス、レオン、パレンシア、サラマンカ、セゴビア、ソリア、バリャドリード、サモラ)
- 人口: 12.4万人、面積: 39.0km<sup>2</sup>(2022)

大聖堂



旧カサ・ボディネス邸  
(博物館として見学可能)



(佐野撮影)

# 7-2. レオンの街並み

## 【旧市街・プラザ(広場)】

- 歴史的建造物の傍には広場が多数存在
- 広場周辺にはバル(比較的安価)やカフェが展開
- 車両の出入り規制、管理
- 駐車場整備



(伊藤撮影)



(佐野撮影)



(佐野撮影)

# 7-3. レオンの街並み

監視カメラエリアの明示看板



(石崎撮影)

駐車禁止の明示看板



(石崎撮影)

◆監視カメラで監視

◆駐車禁止の時間帯

- ・マーケット開催の6～9時
- ・14時～16時

早朝の運搬車両 進入状況(飲食店が並ぶ広場)



(佐野撮影)

地下駐車場出入口



(佐野撮影)

## 8. 巡礼路「フランス人の道」

### アストルガ

- ・「フランス人の道」と「銀の道」が交差する場所に位置
- ・人口1.1万人、面積46.8km<sup>2</sup>(2022)

### ポンフェラーダ

- ・サンティアゴ・デ・コンポステーラまで残り200kmに位置
- ・サンティアゴまでの道中で最大の宿場町
- ・巡礼者を守るテンプル騎士団の拠点となっていた街
- ・人口約6.4万人、面積283.1km<sup>2</sup>(2022)

#### 司教館

(サンティアゴ巡礼博物館本部)



(佐野撮影)

#### ポンフェラーダ城

(図書館、ポンフェラーダ歴史研究センター)



(佐野撮影)

# 8-2. 巡礼路「フランス人の道」

## 巡礼者・観光客



ホタテ貝  
巡礼のシンボル

(伊藤撮影)



(林田撮影)



(佐野撮影)

## 街中の案内所



(林田撮影)

## 各種の道しるべ・標識



カストロヘリス



レオン



レオン



レオン



アストルガ



ポンフェラーダ

# 9.レオンの街(巡礼者の受け入れ態勢)

## ◆宿泊施設-レオン市のアルベルゲ(巡礼宿)訪問

- ・修道院の一部を活用し、公営(簡易宿泊)+民営(ホテル)、宿泊者数は公へ報告義務
- ・宿泊費€10/日、先着順、宿泊者の9割が外国人、収容人数100人程度
- ・各国から巡礼経験者が集まり、ボランティアスタッフとして運営に従事(4名/日)
- ・巡礼者用の荷物配送サービスや、巡礼手帳等の販売、巡礼手帳への押印



外観(事務所)



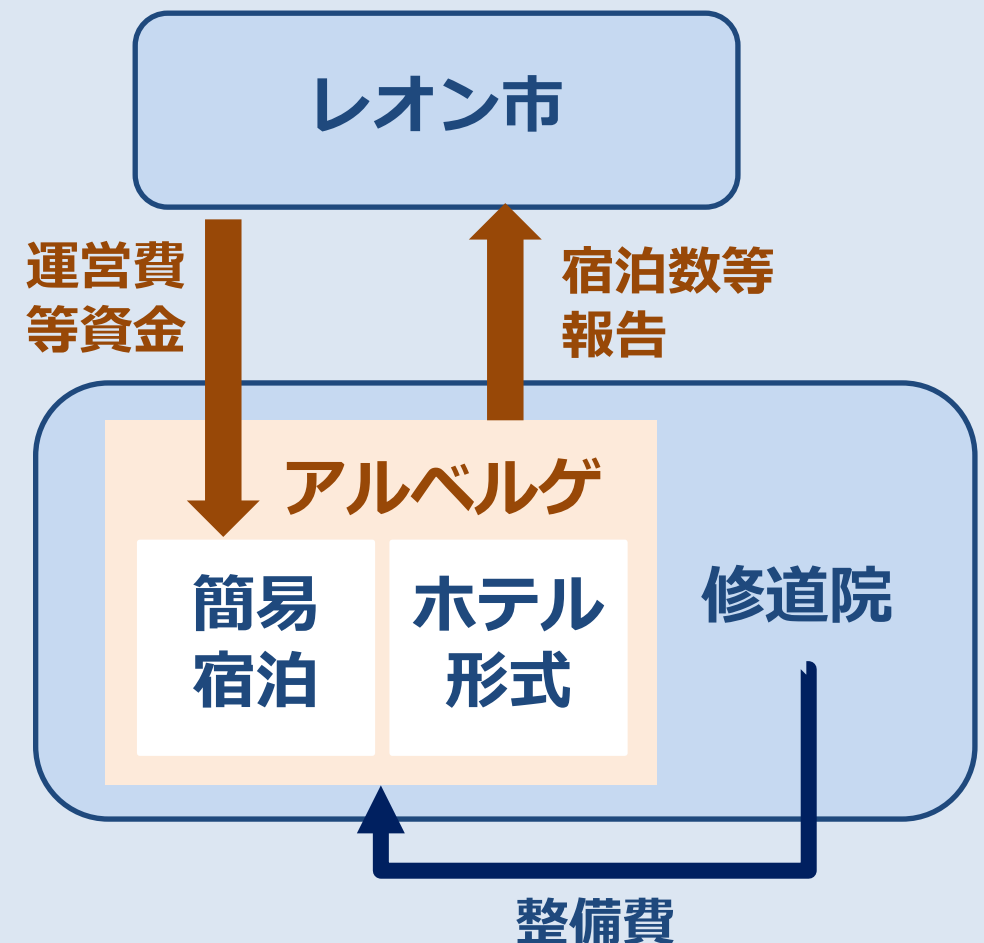
内観(寝室)



内観(談話室・食堂)



内観(ボランティアスタッフ)



(石崎・林田・奈須野撮影)

# 10. 終着地:サンティアゴ・デ・コンポステーラ

- 旧市街地に、大聖堂や広場、パラドール、バル・カフェ等が集積
- 広場には歩行者と自転車のみ通行可能。旧市街地の多くが同様のエリア
- 大聖堂前の広場で巡礼者が自由に聖地到達を祝う。観光客や学生団体も

大聖堂前の広場



(石崎撮影)

# 10-2. サンティアゴ・デ・コンポステーラ旧市街地

## 【旧市街の街並み】

- ・サンティアゴ大聖堂の周辺エリアは、歴史的文化的地区として車両の流入規制
- ・石畳の路地が張り巡らされ、路上には各所にカフェ等の座席が広がる
- ・交通規制の標識がいたるところに設置



(石崎撮影)



# 10-3. サンティアゴ・デ・コンポステーラ旧市街地

- ・監視カメラや電動ボラード設置、登録車両は自動的に認識され通行可能



(石崎撮影)

# 11. 巡礼事務所 — OFICINA DE ACOGIDA AL PEREGRINO

- サンティアゴ大聖堂の管理下にあるカトリック教会が運営
- ◆ 巡礼路上の巡礼事務所
- 巡礼路に位置する主要都市には、巡礼事務所が設置
- サポートスタッフのボランティアは世界中より集まり、日本人のスタッフも
- 巡礼手帳(クレデンシャル)を発行(€5),手帳に各地の宿、事務所等で押印
- ◆ サンティアゴ巡礼者事務所
- 巡礼者に巡礼の完了を証明する巡礼証明書「コンポステーラ」を発行
- 巡礼証明書は、巡礼手段/スタート地点/年齢/国籍等の情報を事務所でデジタル登録することにより発行される。HPにて統計データとして集約・公表



巡礼証明書の申請に並ぶ巡礼者

## 巡礼者の主な国籍(2024年)

国籍	割合 (%)	国籍	割合 (%)
スペイン	43.72	イギリス	2.14
アメリカ	7.98	メキシコ	1.99
イタリア	6.00	韓国	1.66
ドイツ	4.92	カナダ	1.63
ポルトガル	4.60	オーストラリア	1.61
フランス	2.15	ブラジル	1.49

出典：サンティアゴ巡礼者事務所HP統計データより筆者作成

(石崎撮影)

# 12. 巡礼路の受け入れ態勢(ソフト面)

## ◆スマホアプリ:巡礼ガイド

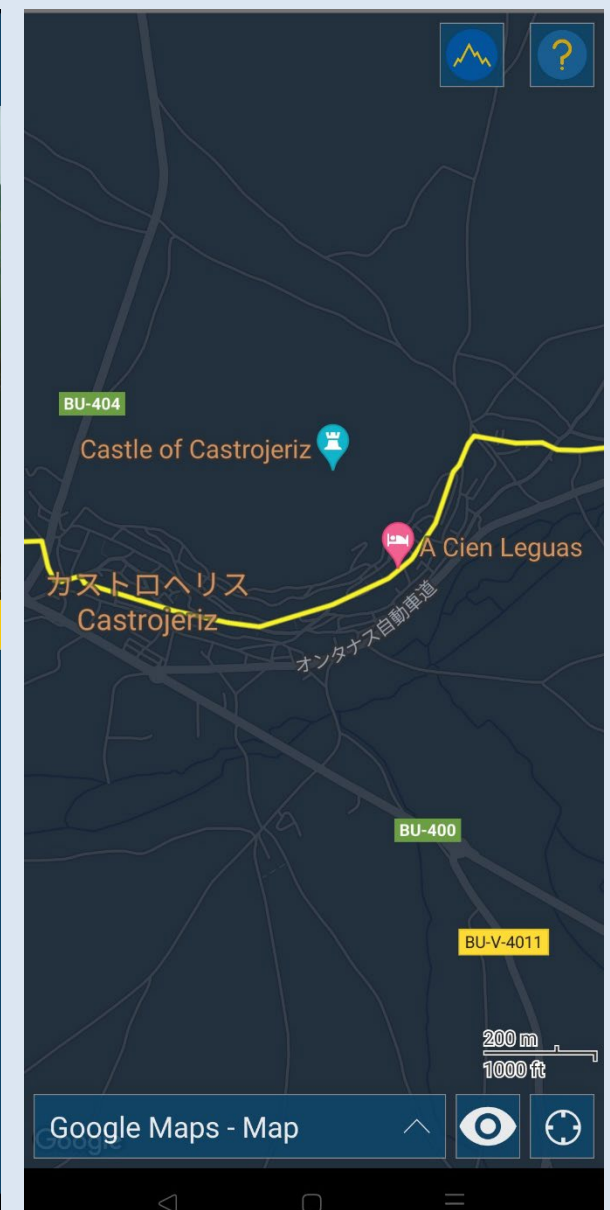
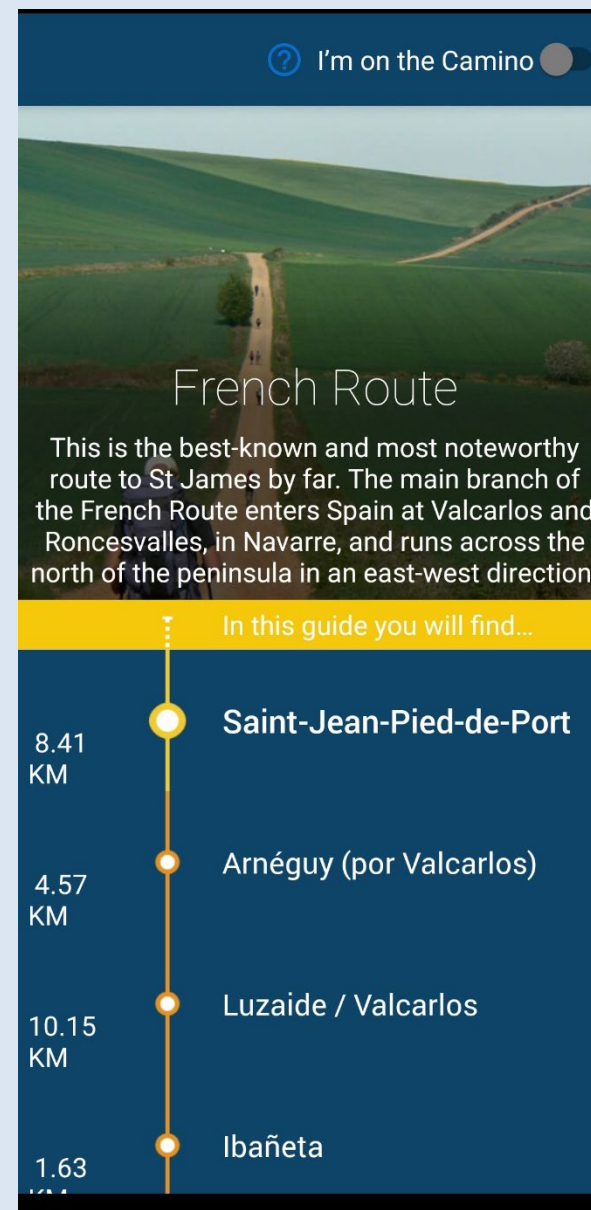
- ・サンティアゴ巡礼路に関するアプリは複数整備
- ・情報集約:ルートや距離・工程、地形図マップと施設表記、街ごとのアルバムやホテル一覧・評価・連絡先等予約も可能なワンストップサービス

代表的なアプリ

(例:Buen Camino de Santiago App)



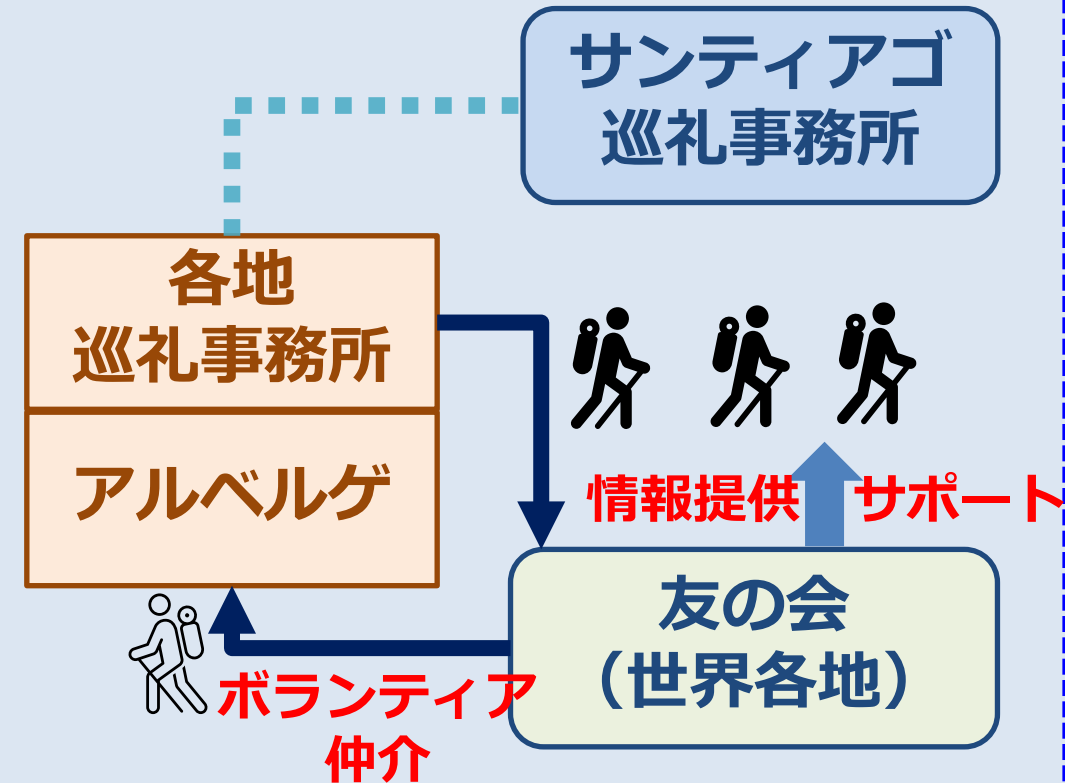
- ・9か国語にて閲覧可能
- ・無料でも使えるが有償でルートプランナー支援機能も



# 12-2. 巡礼路の受け入れ態勢(ソフト面)

## ◆友の会

- ・サンティアゴ巡礼のための「友の会」は世界中に存在
- ・それぞれの地域でサンティアゴ巡礼に関する情報提供やサポートを実施
- ・巡礼宿などのボランティアを友の会が仲介、オンラインなどで説明会も実施



## ◆スマホアプリ:安全に特化した無料アプリ「ALERT COPS」

- ・スペイン**政府の法執行機関の警報システム**
- ・スペイン政府ダウンロード推奨、**7か国語に対応**
- ・巡礼者の安全を確保するための機能が充実
- 《アラート送信機能／位置情報共有》
- 《SOSボタン機能／セキュリティ警告機能》



友の会が発行している巡礼手帳

# 13. 今回の視察で感じたこと

- ①多様な世代・国籍・ジェンダーに“巡礼”の魅力が広がっている
- ②歴史的建造物を様々な用途(美術館・事務所・アルベルゲやホテル等)で保全・活用し、巡礼者・観光客を分散して受入、中心部の徹底した車両交通規制で地域の価値と回遊性を向上
- ③宗教だけではない動機での巡礼を受け入れる受容性と、“巡礼者同士の出会い・交流” = 巡礼の魅力
- ④人口規模の小さなまちでの多様な巡礼者を支えるハード/ソフト両面からの受け入れ態勢の工夫  
言語に制限されない、統一的かつ分かりやすいサイン・発信  
地元の「おもてなし」ではなく「相互協力」「セルフ」  
まち全体でサポート/リアル・コストの合理的な削減
- ⑤巡礼経験者が新規巡礼者を支える & その魅力を向上・伝える循環の仕組みが、受け入れ側の地域の体制強化につながっている  
(巡礼経験者 = 地域外の人材が、地域での受け入れを担う)